

2022年5月20日

児童書『みんなで知りたいLGBTQ+ LGBTQ+を知ろう（第1巻）』を
電通ダイバーシティ・ラボが執筆
—子どもたちが多様な性のあり方、自分らしさを学ぶために—

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：樽谷 典洋）においてダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン領域の調査・分析、ソリューション開発を行う専門組織「電通ダイバーシティ・ラボ」※1による児童書『みんなで知りたいLGBTQ+ LGBTQ+を知ろう（第1巻）』が、文研出版から5月30日（月）に発売されます。小学校中学年からを対象にしたLGBTQ+※2の児童書で、全5巻（第2巻6月、第3巻7月、第4巻8月、第5巻9月）での発売となります。



文研出版、AB版、40ページ、3,080円（税込）

ISBN：978-4-580-82502-4

企画 電通ダイバーシティ・ラボ（増山晶、福居亜耶、絹谷公伸）

監修 認定NPO法人 ReBit

電通ダイバーシティ・ラボが実施した「LGBTQ+調査2020」※3では、約8割の人が「LGBTとは性的少数者の総称のひとつである」ことを知っていると回答するなど、セクシュアル・マイノリティへの社会の認知は高まっています。「小・中学校の年齢で十分な性教育を受けることが必要だ」と考える人も8割を超えています。2017年に告示された小中学校の学習指導要領では、LGBTQ+に関する学習内容は盛り込まれておらず、有用な副教材が求められています。

本書では、電通ダイバーシティ・ラボが10年前から取り組んできた知見を生かし、「性別ってなんだろう」「自分らしさってなんだろう」という身近な疑問から、LGBTQ+やアライなどの言葉の意味、多様性の歴史や未来の社会についてまで、小中学生を対象に能動的な調べ学習を促す工夫を施しています。小中学生が「多様な性のあり方」について学ぶことができるよう、豊富な調査データ・最新事例・マンガ・ワークシートなどを使い、子どもたちだけでなく誰にとってもLGBTQ+について知り、考え、行動するために役立つ本です。

全5巻にわたって構成されており、学校で、図書館で、家庭で、「みんなで知りたい」ことについて、順を追って学びを深めていくことができるシリーズになっています。

● 第1巻 LGBTQ+を知ろう (2022年5月30日発売)

【目次】

はじめに 性別ってなんだろう

- 1 多様性ってなんだろう
- 2 LGBTQ+ってなんだろう
- 3 LGBTQ+の実態



● 以下、順次発売予定。

第2巻 自分らしさを大切にしよう (2022年6月30日発売)

第3巻 アライになろう (2022年7月30日発売)

第4巻 多様性の歴史を学ぼう (2022年8月30日発売)

第5巻 未来をみんなでつくろう (2022年9月30日発売)

※1 2011年に創設。ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン視点で、自社と顧客の双方に対するソリューション開発と提供を推進する、電通の組織横断型専門タスクフォース。「ジェンダー」「障がい」「多文化」「ジェネレーション」の4つの主要テーマを中心に、20ほどの独自プロジェクトと100人ほどのメンバーで活動をしている。子どもを取り巻く社会課題を可視化することを起点としたDE&I実現への貢献や、独自の調査・研究および外部の専門家・研究機関・当事者団体などとの協働により、各種ソリューションの開発・提供や情報発信も行っている。<https://dentsu-diversity.jp/>

※2 「LGBTQ+」

LGBTQ+とは、レズビアン (L)、ゲイ (G)、バイセクシュアル (B)、トランスジェンダー (T) の頭文字であるLGBTに、LGBTだけでは表せない多様な性のあり方 (Q+) を組み合わせた、セクシュアル・マイノリティの総称。

※3 電通、「LGBTQ+調査2020」を実施

<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2021/0408-010364.html>

以上

【本インフォメーションに関する問い合わせ先】

株式会社電通 広報オフィス 広報部

松島、王、抱井

Email : koho@dentsu.co.jp

【書籍に関する問い合わせ先】

株式会社電通 電通ダイバーシティ・ラボ

増山

Email : diversity@dentsu.co.jp